

インフラデータ・サービス共創研究小委員会活動報告

関本 義秀¹

¹正会員 東京大学 生産技術研究所 准教授

(〒153-8505 東京都目黒区駒場4-6-1)

E-mail : sekimoto@iis.u-tokyo.ac.jp

インフラデータ・サービス共創研究小委員会は、令和1年6月に設立され、同年6月から活動を開始した。活動目的は①インフラオープンデータの活用検討、②イベントの企画・運営の2項目である。本小委員会では、大学・大学院等の学校教員・学生・産業界・行政を含め、全国の学会活動に関わる関係者のオープンデータやビッグデータへの認知向上とこれらの活用の裾野を広げることを目的として、インフラ事業に関わる関係者と連携してデータを提供頂き、研究・教育・開発等への活用を試みる活動を行った。

Key Words : *Open-Data, Big-Data, infrastructure*

1. はじめに

2010年代に入り、様々な分野でオープンデータやビッグデータに関する取組が活発になり、アーバンデータチャレンジ、Linked Open Data Challenge等のデータチャレンジに関するイベントや、G空間情報センター等、データプラットフォームについても充実しつつある。また、その一方で社会インフラ、例えば道路、橋梁、舗装、港湾、バス、鉄道、あるいは土木工事そのものや国土、地形、気象等についてもデータはとくに実務の現場を中心に、徐々に増え、2018年度には土木学会が主体となり、前身のインフラオープンデータ・ビッグデータ研究小委員会が運営の中心として、インフラデータチャレンジを行い、全84作品の応募を集める所までに至った。しかし、まだまだ教員・学生・産官含め、全国の学会活動に関わるものの認知は大きくないと思われる。そこで、様々な主体と連携し、インフラデータの先端的な活用を模索するとともに、研究・教育活動の裾野を広げる活動を行っていくこととする。

2. 活動の内容

(1) インフラオープンデータの活用検討

インフラ関係のデータを事業に関わる関係者と連携して提供頂き、研究・教育・開発活動等への活用を試みる活動を行う。

(2) イベントの企画・運営

年に2~3回程度、公開形式のシンポジウムや学生等でも気軽にデータ活用等を経験できるワークショップを開催する。

3. 報告期間の主な活動内容

(1) ウェビナーの開催

インフラデータ活用の機運を高めることを目的とし、Zoomを活用したWeb上でのセミナーやディスカッション（ウェビナー）を開催した。

a) 第1回

日時：2019年10月2日（水）18時30分～19時30分

配信場所：東京大学

参加者：25名程度

講師・題目：

- 関本義秀氏・東京大学生産技術研究所・准教授（小委員会委員長）「2018年1月よりGithubで公開している道路損傷データの教師画像9000枚の紹介とその活用方法」
- 板倉義尚氏・NEXCO東日本（小委員会委員）「土木学会インフラデータチャレンジで公開しているNEXCO系3社の高速道路データの紹介と解説」

b) 第2回

日時：2019年10月25日（金）18時30分～19時30分

配信場所：東京大学

参加者：10名程度

講師・題目：

- 室井寿明氏・（一財）運輸総合研究所研究員（小

委員会委員)「東京圏の鉄道:各駅旅客発着通過状況(首都交通圏)の紹介」

- 松島敏和氏・中央復建コンサルタンツ(株)(小委員会委員)「PT調査データって何?触ってみよう!」

c) 第3回

日時:2019年11月15日(金)18時30分~19時30分

テーマ:第1回土木学会インフラデータチャレンジ受賞作品のご紹介

配信場所:東京大学

参加者:15名程度

講師・題目:

- 松澤有三氏・インディゴ(株)「洪水・浸水シミュレータ(最優秀賞)」
- 小林亘氏・東京電機大学(小委員会委員)「国道・県道の構造的地理空間データ(データ部門優秀賞)」

(2) イベントの開催

インフラデータチャレンジ2019をアーバンデータチャレンジ2019と共催した(アーバンデータチャレンジ2019 with IDC2019 ファイナル&デモデー)。COVID-19の流行に配慮して、YouTube Liveでも配信した。

a) 一般公開デモデー

日時:2020年3月13日(金)15時00分~17時00分

最終審査会の前日はUDC2019に応募された作品を対象に、制作者の皆さんによる作品のデモを中心とする参加者同士の交流イベントをオンラインで開催。

b) 公開シンポジウム&最終審査会

日時:2020年3月14日(土)10時00分~17時30分

【第1部:地域課題解決への新たなアプローチ】

司会:東京大学CSIS/UDC事務局・瀬戸寿一

- ディスカッション「ローカルビジネスとシビックテックを盛り上げるには?(仮)」

コーディネーター:UDC実行委員・和田陽一

パネラー:牛島清豪(ローカルメディアラボ&UDC佐賀拠点)・福島健一郎(アイパブリッシング&UDC石川拠点)・新免國夫(一般社団法人データクレイドル)

- ディスカッション「地域アーカイブとシビックテック~重点分野「生活・文化・地域アーカイブ」の活動を振り返って~」

コーディネーター:UDC実行委員・高橋陽一

パネラー:福島幸宏(東京大学)・阿児雄之(東京国立博物館)・奥田倫子(国立国会図書館)



写真-1 ディスカッションの様子

【第2部:地域拠点の活動報告セッション】

司会:合同会社ジオリパブリックジャパン
/UDC事務局・東修作

- 地域拠点による活動報告ライトニングトーク「UDC2019を振り返って」

【第3部:地域の課題解決を目指す作品大集合!作品プレゼンテーション】

- 最終審査会の進め方について
- ファイナリスト×15作品によるプレゼンテーション(※一次審査通過作品について、各5分間のプレゼンテーション)
- オーディエンスによる投票

【第4部:UDC2019栄光は誰の手に?審査結果発表】

司会:東京大学空間情報科学研究センター
/UDC事務局・瀬戸寿一

- 審査結果発表・講評
- 各特別賞(金沢市特別賞,国立国会図書館賞,オープンガバメント推進協議会賞,実行委員会特別賞)
- UDC2019 with IDC2019金・銀・銅賞の授与・ファイナリスト進出の各部門審査委員長からの講評
- ベスト地域拠点賞
プレゼンター:東京大学生産技術研究所/AIGID・関本義秀



写真-2 表彰式

(3) 小委員会の開催

報告対象期間中,下記の5回の小委員会を開催した。

- 第1回:令和1年07月01日@東京大学
- 第2回:令和1年07月30日@土木学会
- 第3回:令和1年10月02日@東京大学
- 第4回:令和1年10月25日@東京大学
- 第5回:令和1年11月15日@東京大学